

---

# 俺と彼女達と妖精と！？

焰の錬金術師ラビ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺と彼女達と妖精と！？

### 【Nコード】

N5902Z

### 【作者名】

焰の錬金術師ラビ

### 【あらすじ】

清らかな乙女のみ操ることが出来る『妖精』

そこにイレギュラーあり！？それは『男』の魔法使い！？

学園で起きる妖精の凶暴化、妖精からの墮天種！？

一つの歯車が乱れたら、物語は急展開を迎える・・・のかな？

## 第0話 この世界について

やあ、初めまして、この劇場に着てくれて僕は、俺は、私は嬉しく思うよ。

ほら、空いてる席に座つてよ、まだまだ開演して間もないから客も少ないんだけどね（笑）

さて、ちよつと私たちの世界について説明でもしようかな？  
ちよつとした暇つぶしにはなるんじゃないの？  
それじゃあ始めるね。

妖精使い、俗にフェアリーマスターとも言つ。  
だけど誰もがなれるわけじゃない。

魔力自体はみんな持つているらしいのだが……。  
彼女達は魔力により『使い魔』を呼び出すことが出来る。  
それは動物だったり、ただの魔力の結晶だったり……。  
そして彼女達は、その使い魔を操り従わせる。

使い魔にもいろいろある、主人の武器となつて戦うか。  
主人の魔力供給を支援したり、治癒したり、色々な力を持った使い魔がいる。

彼女達はそれを『妖精くフェアリー』とよぶ……。  
そして、大前提として妖精、いや、魔法は女しか使えない。  
代々清らかな身と心を持つ乙女しか、妖精とは共鳴せずに  
それと同じく魔法も使えない。

だから同じ女の子でも魔法が使える人は人種が違うつて事だ。昔から妖精を上手く扱い魔力を制御する修行を積んだ乙女達、それらがヴアルハラ学園と呼ばれる学校で魔法の使い方や妖精の従え方、契約を結ぶ。

彼女達は体のどこかに契約の刻印がついている、それは妖精との契約の証。

その妖精がその命を閉ざすまでは消えることがない、それと同時に、『魔法使い』という証明にもなる。

得意とする属性は人それぞれ、貴族ならその属性を象徴として今も尚健在、というのもあるみたいだけど・・・。

さつてと？大まかな説明は終わったかな？

清らかな乙女達しか扱えない妖精、もちろんそれ自体に属性はあったりするよ？

基本的に武器に変身するのはその名の通り『武器妖精』

そしてそこから上位になっていくと治癒や魔力供給が出来るようになる。

そんな妖精は『治癒妖精』と呼び名が変わる。

んでもって妖精自体は動物だったりさっきの説明のようにただの魔力の塊だったり

まあ魔力の塊は最下層の妖精、まだ生まれて無い『卵』ということ。動物がまあデフォルトかな？

上位になってくとまた見た目が変わるらしいが・・・？

契約の仕方はね・・・まあ見つけて交渉して契約を結んだり一度戦って互いを理解したりいろいろあるよ。

妖精はね、魔力のある人にしか見えないんだって。

だから女の子しか見れないって事、まあ武器の形をして封印されたり

強力すぎる場合はそういうケースもあるよ？

まあ大体は空を自由に飛びまわってるよ、ほら、君の肩にもいたりするんじゃないかな？

まあ見ることは出来ないからわからないんだけどね。

でも妖精だって自分の世界はあるよ？妖精界、そのままだけどね。そんで刻印は妖精界と現世を繋げる道、彼女達は『道<sup>ロード</sup>』と呼んでいる。

こつちの世界をうろろろしているのは大体動物の姿をしている、いわゆる中級者

ってところかな？妖精のランクでいうなら丁度中間地点さ。

俺達の住む町クライシス、そしてクライシスの中に存在する妖精使いを育てる学校、それがさっきのヴァルハラ学園。面積はかなり広いつて聞いたけどさてさて？

さーてと？そろそろ開幕のベルが鳴るぜ？

いろんな妖精たちと、それを従わせる乙女達、そんなでもってのイレギュラー

役者は揃った！物語の始まりといこうじゃねえか！！

## 第0話 この世界について（後書き）

はいオリジナル第二弾！

まあこれまたチヨコチヨコ更新しますんでヨロシク？

## キャラクター紹介

### キヨウ・アイスレイ

左目に魔法の刻印を持つ異例の少年  
生まれつきながら膨大な魔力を持ち、その制御のため  
自己流ながら勉強をしていた。

とあることにより男でありながら魔法が使えることが発覚。  
ヴァルハラ学園に編入させられる。

学園長であるクレイ・クラッシュとはなにやら恨みを持っている。  
性格は無邪気で子供っぽい上にお人好し。

『氷』の魔法を得意としている傾向があり

友人のサロキル（ロキ）にたびたびいたずらをしている。

普段は眼鏡をしているが魔法を使うときは外している。

怒ることは滅多に無いが、怒っているときは  
目つきが変わる・・・かもしれない。

### サロキル・グレイス

キヨウの友人、魔法はもちろん使えない

友人であるキヨウのいたずらに毎度引つかかるが

やるときはやる、剣術が得意で騎士団のご使命が下るほど。

キヨウと同様起こることはあまり無く、お人好し。

やるときはやるのだが・・・その機会が全く無いので

彼の本気を見たものは誰もいない。

クレイ・クラッシュ

ヴァルハラ学園の学園長、見た目は20代の美女、だが実際は魔力により老化が遅くなっているだけで

実年齢はかなりいつている。

キョウとのチョットした因縁を持ち、それをネタにヴァルハラ学園の編入を強制させる。

ラウラ・セイブラッド

見た目は子供・・・っぽい、パツと見中学生な16歳、

銀髪の髪の毛を背中まで伸ばしており男性とのかかわりを

一切していない、従えている妖精は治癒属性の白猫<ヒール>、

主に治癒魔法を行い戦闘には不向き、しかし

その治癒力はとても大きく学園内でも優秀なクラス。

おとなしい性格だが時々積極的なところも見せる。

いいところのお嬢様のようなが本人はそれにより色眼鏡をかけて見られることを嫌っており、回りとげとげしい態度をとる。

ネーナ・フレイマー

明るく無邪気な16歳、キョウとの偶然の出会いにより

彼をヴァルハラ学園に編入させるきっかけとなってしまう。

『炎』の属性魔法を戦力としており彼女の従わしている妖精は武器妖精、炎の鷹<フレイムファルコン>その武器姿は

炎の刀、真紅の刃は炎を纏い触れたものを消し炭にする。



周りのことを一切見ようとせず思ったら一直線、キヨウを引っ張りまわす

ラウラとは家柄上、犬猿の仲のようだが・・・？

クロス・ブレイサー

クレイ・クラッシュの護衛役&ヴァルハラ学園の騎士団長

主に風紀面を管理しており、町の騎士団とは衝突が絶えない。

男の魔法使いであるキヨウを敵視するも、騎士団との衝突を

彼とサロキルに止めてもらい、自分の考えと違う彼に興味を持つ。

得意魔法は鋼鉄魔法、妖精は武器妖精 鋼鉄の狼<アイアンウルフ>その武器姿は大きな鎌。

アイス・アイス

キヨウの妖精、武器妖精でありながらその姿は

人間の少女そのものであり高位ランクの武器妖精

触れたものは自分の魔力を相手に注ぎ、その相手の体を自分の制御下におくという凶暴性を秘めていたため

妖精界から追放、武器姿のまま学園に封印されていた。

人間姿のアイスは見た目は13〜4歳にしか見えないと

小柄だが自称する年齢は16歳らしい、一般常識が欠けているためマスターであるキヨウに毎回突発的な行動をとる。

## 騎士団

クライストの中に設備されている軍、彼らの一部はヴァルハラ学園の生徒を

『化け物』とさげすんでおり彼女達が町に来ようものならたびたび卑劣としかいえない行為を働く、サロキルはその一部を嫌っている。

## セブン・ロツクイル

騎士団の第一団長、サロキルたちと同じ年の16だが

考えることは自分のことばかり、ヴァルハラ学園の生徒を

『化け物』とさげすみながらも卑劣な行為を働く。

サロキルやキヨウとは知った仲だが・・・？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5902z/>

---

俺と彼女達と妖精と！？

2011年12月21日20時46分発行